

平成31年度 白沢小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

- (1) 基本方針
広い視野をもち、心身ともに健康で、創造性と実践力に富む心豊かな児童の育成を目指す。
- (2) 具体目標
『時代を拓く日本人を育てる』
○ よく学び考える子 ○ 思いやりのある子 ○ たくましい子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

創立146年を迎え、歴史や伝統、豊かな自然や文化に培われてきた本校で学ぶ全ての児童に対し、全教職員がその力を結集し、教育目標の達成を目指す。そのためには、全ての教職員の職務に対する情熱と使命感を集約し、児童・保護者・地域住民と協和し合うとともに、創意と工夫・活力に満ちた教育活動を展開する。また、地域とともにある学校づくりを目指し、家庭や地域や企業とも相互理解を深め、三育（共育・協育・響育）の精神をもって地域の教育資源を活用しながら、学び合い、喜び合い、はげまし合う教育の実践に取り組む。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 楽しく居がいのある学校づくり ○(2) 生きる力を育む教育実践
○(3) 社会性の育成 (4) 地域と共にある学校づくり
(5) 自己研鑽と経営組織の活性化 (6) 働き方改革を意識した校内事務の効率化

[古里地域学校園教育ビジョン]

児童生徒一人ひとりに、将来の夢や希望をもたせるとともに、「学ぶこと」そして「心豊かにたくましく生きること」を自覚させ、社会的自立をめざす教育に小中が一貫して取り組む。

4 教育課程編成の方針

- (1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法及び学校教育法施行規則並びに小学校学習指導要領、栃木県教育委員会施策、宇都宮市教育委員会の基本方針や努力点の示すところに従い、本校教育課程を編成する。
- (2) 本年度の本校の教育目標の実現を目指して、各教科等及び各学年間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるようにするとともに、地域や学校の実態及び児童の心身の発達段階と特性を十分に考慮し、特色ある教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【学 校 運 営】○児童も教師もいきいきと活動する学校、児童も教師も成長する学校、地域とともにある学校の実現による「信頼と魅力ある学校づくり」
・教職員が児童と向き合う時間を十分かつ適切に確保するため、積極的に業務改善に取り組む組織作りの推進
- 【学 習 指 導】○自分のめあてをもち、進んで取り組み、力を高め合う児童の育成
- 【児 童 生 徒 指 導】○一人一人が自信をもち、共に支え合いながら、生き生きと活動する児童の育成
- 【健康（体力・保健・食・安全）】○運動に親しみながら、体力と健康の向上を目指し、自他の生命を尊重し、安全な生活を営む児童の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
----	------	----------	-----	----

目 指 す 児 童 の 姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 授業の中に学びあいの活動を取り入れ、課題を児童同士で解決するような授業展開を心がけていく。 ② 「<u>白沢小学習の約束</u>」や<u>古里学校園で作成した「家庭学習のすすめ」を配布し、家庭と連携して学習習慣の形成に努める。</u>	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 85.6%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・①②を継続していく。
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 道徳において、相手の気持ちを考えたり、その時の自分の行動を考えたりする授業を実践していく。 ② 他の児童が行った、思いやりの行動を「ありがとうのふわふわ雲」に掲示することで、児童同士が互いのよさを認め合えるようにする。	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 83.5%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・①②を継続していく。
	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、決まりやマナーを守って、生活をしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 本校の生活目標を明確化した「すてきな虹色白沢っ子」を継続する。また、月目標の提示方法や重点チェック期間、振り返り方を見直し、児童一人一人が「守ろう」という意識を高める工夫をする。 ② 各種便りを通して、重点目標への取組や児童の変容などを保護者や地域に知ってもらう。 ③ 生活のきまりや学習のきまり等の掲示物を作成し、児童の意識化を図るとともに、秩序があり安全な学校生活が送れるよう教職員が一体となって児童の育成に当たっていく。	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 80.2%であり、指標の 90%を下回った。 【次年度の方針】 ・今年度の取り組みは効果が上がっているため、次年度も継続していく。 ・学級での意識付けにさらに力を入れていく。 ・学習のきまり（話の聞き方、話し方）に関する掲示物を作成し、学校全体で共通理解し、児童の意識化を図る。
	A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 古里地域学校園や児童代表委員会を中心とした<u>朝のあいさつ運動を実施し、意識化・実践化を図る。</u> ② 児童会によるあいさつ運動を継続したり、家庭でのあいさつを強化したりするなどの工夫をして、さらなる定着を図る。 ③ 懇談会や各種便りを通して、家庭と連携して指導の徹底を図る。 ④ 来校者や地域住民へのあいさつ及び会釈ができるような取組を工夫する。また、月に 1 回家庭でのあいさつチェックシートを活用し、習慣化を図る。	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 89.9%であり、指標の 90%をやや下回った。 【次年度の方針】 ・①②③④を継続していく。 ・時と場に応じたあいさつの意識を高めていく。

A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 繰り返し学習したり、少し難しい学習に挑戦したりする場を意図的に作り、児童の意欲の向上や達成感に繋げるようにする。 ② グループやクラス・学年で自分たちの力で最後まで取り組むことで達成することができる経験を設定することで、達成感や成就感を味わわせる。また、最後まであきらめずに取り組めたことを認め励ましていく。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 84.2%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・①②を継続していく。 ・児童が目標を設定する場面を設け、目標に向かって活動できるようにする。
A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、健康や安全に気を付けて生活している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 健康について児童が実感を伴って理解できるように保健学習や学級活動における項目内容を充実させる。 ② <u>地域や保護者と連携して安全教育の充実を継続するとともに保健委員会では安全面、体育委員会では怪我の予防等、児童が健康・安全をいしきで</u> <u>けるような取組を充実させる。</u>	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 88.1%であり、指標の 80%を上回った。 ・児童会活動の取り組みにより、健康や安全に留意して生活しようとする児童が増えた。 【次年度の方針】 ・①②を継続していく。
A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 学級活動や児童会活動、縦割り班活動（児童会・清掃・給食）等において、児童一人一人が集団の一員としての自覚や責任をもち、互いに協力することのよさや自分のよさについて感じることができるよう、活動内容を工夫する。 ② 地域の人材・施設等を活用し、働くことの大切さ知ったり、体験したりする活動を設定する。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 84.2%であり、指標の 80%を上回った。 ・活動内容の工夫が児童の努力しようとする意欲につながった。 【次年度の方針】 ・①②を継続していく。
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、外国語活動（英語）の授業や A L T との交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 授業において、担当する教員が自ら積極的に英語を使う授業を展開するとともに、A L T を積極的に活用し、英語によるやり取りを行う活動を設定する。 ② A L T による給食時や休み時間の交流を行い、児童が英語に触れる機会を設ける。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 80.8%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・①の活動を充実させるため、A L T との打ち合わせを密にすることでより良い活動にしていく。 ・朝の歌などでも英語の歌を活用していく。
A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、宇都宮の良さを知っている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 宇都宮に関する情報を児童に積極的に発信する。 ② 郷土に対する誇りや愛情をもてるよう、身近な自然や文化について、生活科・社会科・総合的な学習の授業において学ぶ機会を充実させる。	A	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 70.1%であり、指標を下回った。 【次年度の方針】 ・児童会を中心に集会などで情報を発信していく。 ・総合的な学習の時間と道徳の授業を充実させていく。

	A10 児童は、I C T機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、パソコンや図書等を学習に利用している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 総合的な学習等において、タブレットを活用した授業を展開し、様々な機能（調べる・絵を描く・カメラ撮影等）に慣れ親む機会を設定する。 ② 市図書館等の貸出を利用し、必要な図書資料を豊富に準備し、学習に活用する。	A	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 80.1%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・タブレットを活用できるよう教職員の研修を行い、授業の充実を図る。 ・市図書館の貸し出し利用は多くなっており、今後も継続していく。
	A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は誰に対しても思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒地域住民の肯定的回答 80%以上	① 高齢者とふれあう機会を設置することにより（運動会への招待・インタビュー・高齢者施設見学・老人会による緑化活動等）、高齢者を身近な存在として受け止め、高齢者への感謝の心や敬う心を育てる。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 83.5%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・①を継続していく。
	A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「この学校の友達は、水や電気を大切にしたり、植物や動物を大切にしたりしている」「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について関心をもっている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 生活科・総合的な学習・理科・社会等、地域の自然・文化等を課題とした学習を、地域の方と連携し展開する。 ② 主体的・協働的な学びとなるよう、体験や対話を取り入れる活動を多く設定する。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 79.1%であり、指標をわずかに下回った。 【次年度の方針】 ・「持続可能な社会」について、教職員がより内容を理解し、各授業に生かせるようにしていく。
目指す学校の	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 校内支援委員会等により組織的な対応に努め、児童に必要な支援について定期的に検討する。 ② 特別な支援が必要な児童生徒に対して、個別の支援計画を作成・活用して、学校全体として指導に当たる。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は 100%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・①②を継続していく。

姿	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① いじめゼロ集会やいじめアンケート、標語の募集の実施などにより、児童への意識化を図る。 ② いじめを未然に防ぐことを目的とした自己肯定感を高めるカードの活用（児童自身のよさの発見、友達からのよさの発見、保護者や地域の方々からのよさの発見）を図る。 ③ 道徳の授業等により児童の心を育てるとともに、各種便りやHP等の呼び掛けにより、保護者の意識も高めていく。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 98.2%であり、指標の 90%を上回った。 【次年度の方針】 ・①②を継続していく。 ・たよりやホームページ等で学校の取組などを随時報告し、保護者の意識をさらに高めていく。
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスを作ってくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 児童のよさを称賛したり、活躍できる場を設定したりし、児童が自己肯定感をもち、安心して生活できるような学年・学級経営に努める。 ② 担任だけでなく、学校組織として児童の状態を把握し、支援策を検討し、児童への適切な支援に繋げる。	B	【【達成状況】】 ・児童の肯定的回答は 92.8%であり、指標の 80%を大きく上回った。 【次年度の方針】 ・①②を継続していく。
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 言語・文化の違いを理解し、児童への、日本語の指導を行うとともに、学級での温かな雰囲気づくりに努める。 ② 保護者のニーズを把握し、通訳や翻訳の必要性を相談し、保護者の学校理解がなされるよう努める。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は 100%であり、指標の 80%を大きく上回った。 【次年度の方針】 ・①②を継続していく。
	A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート「自分は今の学校が好きである」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 児童の自己肯定感や主体性をさらに高めるために、各行事や児童会活動、クラスで協力する活動（長縄・ドッジボール大会・ロング昼休みを活用したクラス遊び等）において主体的に活動できる場を設定していく。 ② 児童の心の安定や居がいのある学校づくりのため、児童と教師の関わりをさらに深め、児童に寄り添い、児童を肯定的に捉えていく。	A	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 81.9%であり、指標の 90%を下回った。 【次年度の方針】 ・①は継続していく。 ・児童の心の安定と居がい感のある学校作りを行う。配慮が必要な児童が多いため、教育的配慮を増やし、声掛けを積極的に続けていく。

A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① コースの特性を生かした指導方法の工夫と、学び合いを取り入れた少人数習熟度別指導により、学力の向上を図る。 ② <u>読解力や語彙力、文章力等の向上を図る言語活動の取組を教職員共通理解のもと実践し、学力向上につなげていく。</u> ③ <u>基礎力を養う朝の学習「プロジェクトS」での毎月の確認テストの実施及び国語・算数の密接な関連等により、分かる授業・思考力を育てる授業に努める。</u>	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 93.2%であり、指標の 90%を上回った。 【次年度の方針】 ・①②を継続していく。 ・朝の学習「プロジェクトS」の内容を検討していく。
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校に関わる教職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 学校図書館司書業務嘱託員、学校栄養士、かがやきルーム指導員、ALT、スクールカウンセラー等と、打ち合わせや情報交換の時間を確保するとともに、日常的な情報共有に努め、コミュニケーションを図っていく。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は 95.7%であり、指標を上回った。 【次年度の方針】 ・①②を継続していく。
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化にとりくんでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 業務の効率化や分担等の改善を行い、時間内に業務が遂行されるよう、校務を計画的・組織的に取り組めるようにしていく。 ② 出退勤時間の管理により、教職員が時間を意識できるようにする。 ③ 教職員の専門性を生かし、組織的な取組となるよう、教職員の連携を強化していく。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は 82.6%であり、指標を上回った。 【次年度の方針】 ・①②③を継続していく。 ・会議等の時間等を明確化し、内容の精選・時間の使い方を工夫し、効率化を図っていく。
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、小学校と中学校が連携した『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① <u>地域学校園研修会や各部会等を定期的に実施し、計画的に実施する。</u> ② <u>あいさつ運動等、小中学校が連携した取組に関して便りやHP等による情報発信に努め、保護者や地域への周知を図る。</u>	B	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は、87.3%であり、指標を上回った。 【次年度の方針】 ・①②を継続していく。

A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 生活科、総合的な学習の時間の他にも奉仕作業や食農体験、地域の施設を活用した行事等、<u>地域素材や人材・施設を活用した学習を継続・実施していく。</u>	B	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は、90.9%であり、指標を上回った。 【次年度の方針】 ・①を継続していく。 ・より効果的な活動となるよう、具体的な取組内容・実施方法等について見直したり精選したりしていく。
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒地域住民の肯定的回答 80%以上	① 交流行事や活動のねらいを十分検討し、心の交流につながる活動になるよう工夫を加えながら継続していくとともに、学びを地域に発信する機会を設けるなど、双方向性の交流を目指していく。	B	【達成状況】 ・地域住民の肯定的回答は昨年度同様 100%であり、指標の 80%を大きく上回った。 ・授業や学校行事などで地域住民の方々や企業と連携を図りながら教育活動を行うことができた。 【次年度の方針】 ・①を継続していく。 ・地域への発信等、活動内容について工夫していく。
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている」 ⇒教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 日常的な点検・定期的な点検を実施し、教職員が組織的に施設・設備についての維持管理を行うとともに、改善が必要な個所については、迅速に対応する。 ② 学校行事等の特別な活動時には、臨時的な安全面の点検を実施する。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は 100%、保護者の肯定的回答は 87.5%で指標を上回った。 【次年度の方針】 ・①②を継続していく。 ・保護者・地域の協力も得るなどして安全を確保していく。
A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、パソコンや図書等を学習に利用している」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① I C T 機器の活用しやすくなるよう、配置等を工夫する。 ② 学習内容に関連する図書を整備していく。 ③ <u>地域学校園内の図書室の蔵書を借り等して、学習で活用できるようにする。</u>	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は 95.7%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・①②③を継続していく。 ・地域学校園内の図書と連携し、図書の有効活用を図っていく。

本校の特色・課題等	B 1 地域学校園を基盤とした交流・教育活動を実施する。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている」⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 学年・発達段階に応じた交流活動のねらいと実施内容を全職員が共有し、全職員の共通理解のもと系統的に交流が図れるよう工夫していく。 ② <u>行事や交流活動等や日常的な情報交換を行い、小中の相互理解を図る取組を工夫していく。</u>	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は 100%であり、指標の 80%を上回った。 ・授業参観や情報交換を行い、相互理解を深めることができた。 【次年度の方針】 ・①・②を継続していく。
-----------	--	--	---	---

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【成果】

○「健康や安全に気を付けて生活している」と答えた児童は、88.1%であり、教職員・保護者・地域住民のほとんども、できていると感じている。本校の重点目標である体力と健康の向上を目指した「体力作り」や「避難訓練」等の取組みの結果であると考ええる。

○「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している」と答えた児童は、98.2%であり、前年度を上回った。○地域の教育力を生かした特色ある教育活動について、保護者の 90.9%が行われていると回答しており、市の平均を上回っている。「地域とともにある学校づくり」の実践結果であると考ええる。

【課題】

○児童・保護者の「学校は活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である」との回答は、9割に及ばず市の平均よりも低くなっている。児童のよさを認め、学習・生活における児童の達成感や自己肯定感を育てていくことで、楽しく居がいのある学校づくりを行うことが課題である。

○生活のきまりやマナーを守った生活については、児童の肯定的回答が 80.2%となっていた。きまりを意識した生活ができるようになりつつあるが、今後も教職員・保護者の共通理解のもと指導・支援を充実させていく必要がある。

7 学校関係者評価

○児童は、地域住民に対してあいさつをすることができており、大変よいことである。今後も、あいさつの大切さを実感できるよう、あいさつ運動に力を入れたり、家庭においてもあいさつができるよう保護者への啓発をおこなったりするなどしていただきたい。このようなあいさつの取組によって、児童に活気が出て明るい学校生活が送れるようになり、白沢小の子どもたちの素直さを伸ばすことができるであろう。

・いじめについては、予防の取組や早期の対応が重要である。保護者と情報共有を図るなどして、家庭と連携した取組にしていていただきたい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

○児童のよさを認めさらに伸ばしていくために、学校・家庭・地域住民が連携し、あいさつができる子どもの育成を図っていく。

○児童一人一人がきまりを守ろうという意識をもって生活できるよう、教職員・保護者が共通理解を図り指導・支援を行う。

○全教職員の励ましの声掛けを中心に、児童が学級・学校において達成感や自己肯定感を得ることができるとともに、学校に居がいを感じ楽しいと思うことができるよう、学校経営・学級経営の充実を図っていく。

・児童会によるいじめゼロ運動など、未然防止の取組を継続するとともに、保護者との連携を図り、いじめの予防や早期発見・早期対応に努めていく。